

ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。  
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ **BTR100**  
パスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

**BTR 100**  
Bluetooth AUXレシーバー RM

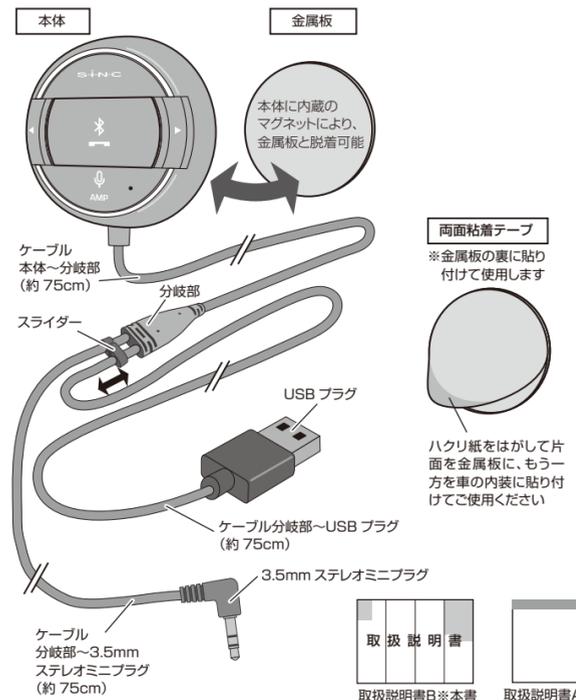
この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書B)と別紙の取扱説明書A、接続するBluetooth接続機器の取扱説明書をお読みください。

はじめに

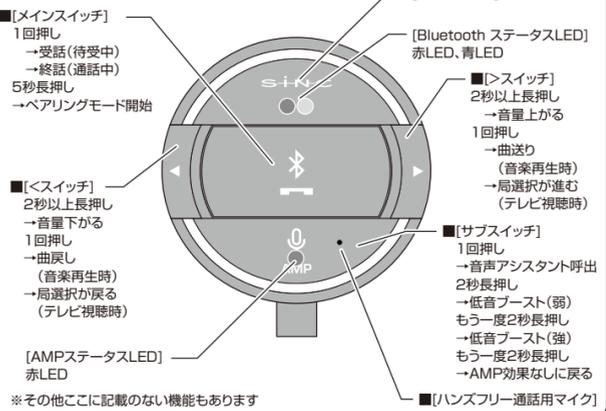
本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/タブレット/音楽プレーヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中ではこれらのBluetooth対応機器を状況に応じて、通話機能を有する機器を「携帯電話」、もしくは機器を総じて「接続機器」と表記しております。

本製品の構成と名称、部品のはたらき

<商品の構成、付属品>



<主な操作概要(本体)>



本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品をお使いになるまでの手順は以下のような流れになります。  
【ご使用・取り付けの前に】※必ず車を安全な場所に停車してから、機器の接続を行ってください。

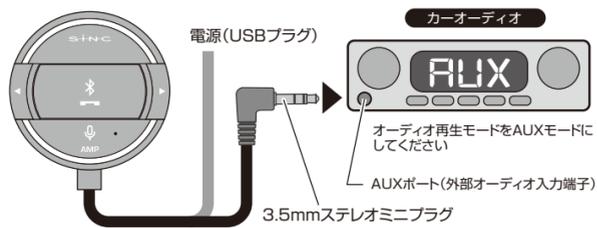
1. 開封と確認
2. エンジンをかけてAUXに接続
3. USBプラグを接続
4. 本機とBluetooth対応機器をつなぐ
5. 取り付け場所を決める

1. 内容物の確認をしてください

■開封後、左下の図を参考に内容物の確認をお願いします。  
※万が一、初期不具合や欠落した部品がある場合は、ご購入いただいた店舗または書末または右側記載のお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

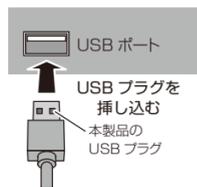
2. お車のエンジンをかけてから、本機の3.5mmステレオミニプラグを車のカーオーディオにつなぎます

- ①お車のエンジンをかけ、カーオーディオの電源をONにしてください。適度な音量に調整してから、カーオーディオを「AUX入力(外部入力)モード」にしてください。
- ※「AUX入力(外部入力)モード」への仕方はカーオーディオの取扱説明書をご覧ください。
- ②カーオーディオのAUX入力端子に本機の3.5mmステレオミニプラグを挿し込んでください。
- ※カーオーディオの外部入力端子がコンボジットRCA端子やφ2.5mmステレオミニプラグ仕様の場合は、変換アダプターが必要となります。別途お問い合わせください。



3. 本製品のUSBプラグを接続します

- ①本製品本体ケーブルの先のUSBプラグをお車のUSBポートまたはDC充電器に挿し込みます。
- ※出力が1A以上のUSBポートをご使用ください。
- ※一部データ通信用のUSBポートでは動作しない可能性があります。
- ②USBプラグを接続すると本体の電源がオンになります。



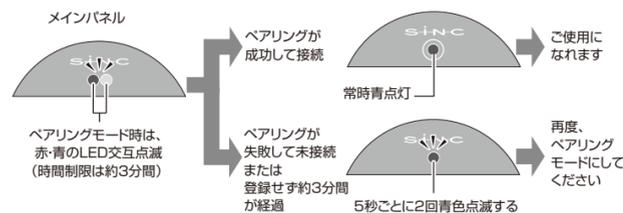
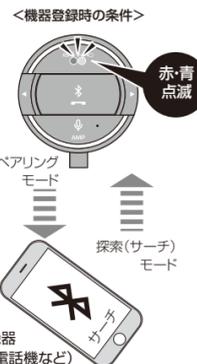
4. 本製品とBluetooth機能付き接続機器(携帯電話機など)をつなぎます

本製品をはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

⚠ 携帯電話機などのペアリング(機器登録)から接続までの手順は、別紙の取扱説明書Aに詳しく記載しています。そちらも必ずご参照ください。

【ペアリング(機器登録)~Bluetooth接続まで】

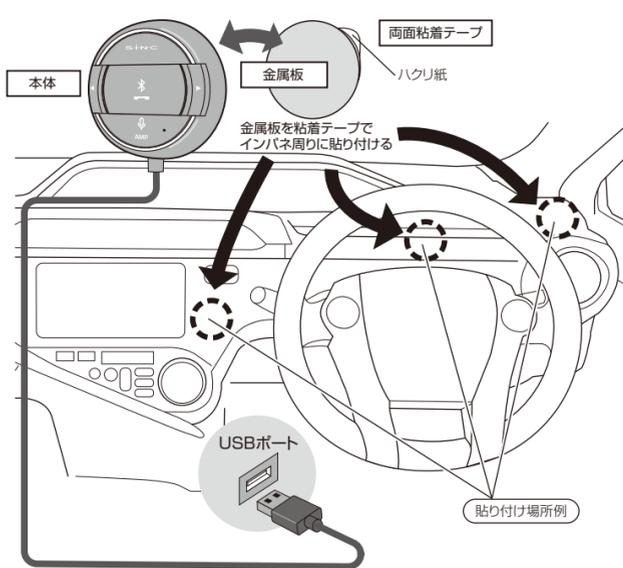
- ①本製品と携帯電話機との間に障害がないようなるべく近づけてください。
- ※携帯電話機に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。
- ②本製品をペアリングモードにする。
- ※(工場出荷時やリセット後の場合)本機が工場出荷時の場合、本機に通電が行われると、まもなく本機メインパネルのLEDが赤と青の交互点滅を行い、ペアリングモードを開始します(約3分間行います)。
- ※(手動で行う場合)自動でペアリングモードにならない場合や、携帯電話機の買い替えなどでペアリング登録を改めて行いたい場合は、[メインスイッチ]を5秒間長押ししてペアリングモードにしてください。
- ③携帯電話機をBluetooth探索(サーチ)モードにして、本機の機種名をリストアップする。
- ※携帯電話機の[設定]画面から[Bluetooth設定]を開き、[Bluetooth機能]をONにして機器の[探索(サーチ)]を選択してください。
- ※携帯電話機の機種により用語や手順が異なりますので、別紙の取扱説明書Aと携帯電話機の取扱説明書(マニュアル)も予めご確認ください。
- ※通常、数秒から数十秒で探索の結果が表示されます。機種や周りの電波状況によっては時間がかかる場合があります。本機の製品番号「BTR100」がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。
- ※選択後、パスキー(Bluetooth認証PINコード)を要求された場合、「0000(ゼロを4つ)」を入力します。
- ④数秒待つとペアリング(機器登録)が完了し、携帯電話機への機器登録が成功します。
- ※ペアリングが失敗した場合や3分以内にペアリング登録が完了しなかった場合、本機のLEDランプが青点滅になります。その場合はメインスイッチを5秒間長押しして再度ペアリングモードにするか、USBプラグを一旦外し、再度挿入して電源を入れ直してください。



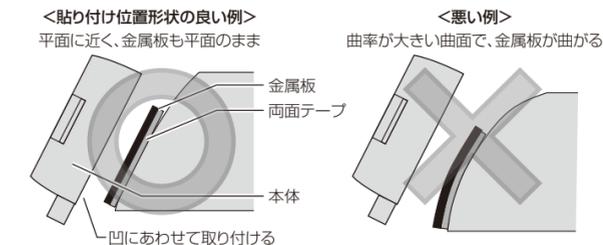
- ⑤自動で接続されない場合、携帯電話機のリストに表示された「BTR100」を選択し、接続状況を確認して携帯電話機側で接続を完了してください。
- ※携帯電話機側で本機のペアリング登録を削除していないければ、本機の電源を入れ直す度に自動接続を試行します(機器登録を8台以上行った場合や長い期間ご使用にならなかった場合などは手動で接続を行うか、ペアリング登録を再度行ってください)。
- ※携帯電話の機種や設定、仕様によっては、自動で再接続しない場合がありますので、その場合は手動で再度接続を行ってください。

5. 本製品を取り付ける

- 本製品の取り付け場所を決める前に、通話や音楽再生をお試しください。
- ※本製品を取り付ける際は安全の為、運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
- ※取り付け位置を固定する前に、必ず製品の内蔵マイクが使える位置であることを予めご確認ください。
- 固定前のテストが終わったら、実際の取り付けを下記の手順で行います。
- ①下の図を参考に、本体に無理なく手が届き、マイクが正常に使える場所を取り付け位置に決めてください。

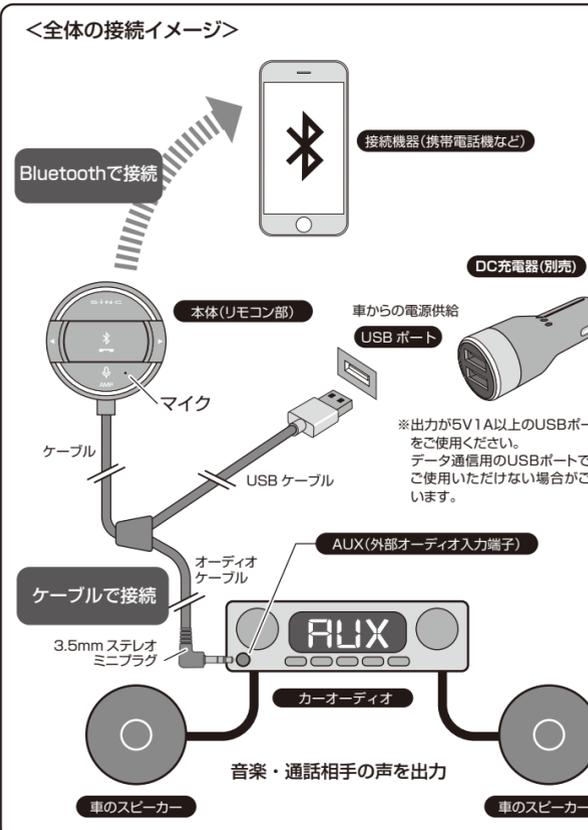


- ※万が一、強い振動などで不意に脱落したとしても、事故の発生につながるような取り付け場所を選んでください。
- ※金属板を貼る場所のホコリ、油分、汚れなどを予め中性洗剤などで拭き取り、乾いたことを確認してから、作業を行ってください。
- ※貼り付け場所は、スイッチ、表示が見やすく、なるべく平らな場所で、エアバッグの影響がない場所を選んでください(天然皮革素材、起毛処理箇所、塗装箇所を避けてください)。
- ※曲率が大きい曲面に貼り付けると、マグネットの効果が発揮できず、本体の貼り付けができなくなったり、振動による脱落の原因になります。



- ②付属の両面粘着テープのハクリ紙をはがし、金属板の裏に貼り付けてください。
- ③その後、①で予め決めた位置に金属板を貼り付けてください。
- ※貼り付けた後は十分な粘着力を発揮するために24時間放置してください。
- ④本体(リモコン)を金属板にマグネットで貼り付けて使用することができます。
- ※運転中のリモコン操作は危険ですので絶対にお止めください。必ず、お車を停車し、安全をご確認の上、ご使用ください。
- ※磁力の影響で不具合の起こる可能性がある機器の近くではご使用にならないでください。

発売元  
株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地  
セイワホームページのご案内(右のQRコードでもOK)  
適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。  
https://www.seiwa-c.co.jp  
お客様サポートセンター(裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)  
お客様サポートセンター ☎ 0570(039)710  
受付時間/AM10:00~PM5:30(土曜・日曜・祝日除く)  
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1



## 無料修理規定

- 取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換または修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合は有料交換・修理になります。
  - お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
  - 誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
  - 不当な修理または改造による故障・損傷
  - 火災、地震、水害その他の天災地災および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
  - 保証書のご提示がない場合(レシート添付の場合は除く)、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 日本国内にて販売されている、日本国内の携帯電話事業者用携帯電話<sup>①</sup>以外の携帯電話を使用した場合の故障・損傷
  - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷
- 保証期間はご購入日から6ヶ月とします。
- 本製品の保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本製品の保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本製品の保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものではありません。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※この裏面に保証書が印刷されています。

## 製品仕様

### 1. 主な仕様諸元

項目	仕様	項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.0	製品寸法・重量	H116× W52× D58mm
Bluetooth対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP	(本体ケーブルのみ)	約66g
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スプレッドラム	マルチペアリング	○ (8台まで対応)
使用可能距離	見通し 10 m	接続機器表示名	BTR100
消費電力	0.5W	パスキーコード	0000 (ゼロを4つ)
変調周波数特性	20~15000Hz	電源端子	USB TYPE-Aプラグ
S/N比	90dB	ケーブル長	約75cm(分岐~3.5mmプラグ) 約75cm(分岐~USB-Aプラグ) 約75cm(本体~分岐)
		規格	電波法2.4GHz帯工事設計認証

### 2. 主要操作一覧

#### ＜主な操作、電子音、LEDのはたらき＞

機能、状態	操作もしくはは操作の結果	LED表示	電子音
電源 ON	通電開始直後	青2回連続点滅	*ピポ(バ)
ペアリングモード	自動もしくはは手動でペアリングモード	赤/青交互点滅	*ピポ
ペアリング失敗	約3分以内にペアリングが成功しない	青2回連続点滅	*ポ・ポ
ペアリング完了	ペアリング (機種登録) が成功	青2回連続点滅	*ピポ
接続	登録機種と接続した時	青2回連続点滅	*ピポ
待受け待機中	ペアリング済み機器と接続中	青常時点灯	—
音楽再生中	接続機器で音楽を再生中	青5秒ごとに1回点滅	—
接続している端末がない	ペアリングが失敗した時、接続解除後	青5秒ごとに2回点滅	—
接続解除	接続切断 (通信圏外) の時	青2回連続点滅	*ポー
	Bluetooth機能オフの時	青2回連続点滅	—
音量調節	「>」約2秒以上長押しで上がる	—	最大時 *ポ
	「<」約2秒以上長押しで下がる	—	最小時 *ポー
音楽再生一時停止	待受け/音楽再生時、メインスイッチを1回押す	—	—
リダイヤル	待受け/音楽再生時、メインスイッチを短く2回押す	青5秒ごとに1回点滅	—
音声アシスタント起動	待受け/音楽再生時、サブスイッチを1回押す	—	*ポ
着信	待受け/音楽再生時に着信した時	青点滅	呼び出し音
受話	着信時、メインスイッチを1回押す	—	*ポ
終話	通話中、メインスイッチを1回押す	—	*ポ
通話中接続切り替え	通話中にメインスイッチを2秒押す	—	*ポー
着信拒否	着信時、メインスイッチを2秒押す	—	*ポー
AMP 効果 ON	音楽再生時、サブスイッチを2秒押す	AMP状態表示LEDが赤く点灯	—
※AMP-OFF時は消灯	(弱=弱い赤、強=強い赤点灯)	(弱=弱い赤、強=強い赤点灯)	—
リセット	電源ONで「<」、 「>」スイッチを同時に7秒間押す	赤連続5回点滅	*ポ・ポ・ポ

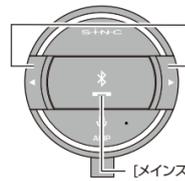
- ※上記は代表的な内容ですので、ご使用に押し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。
- ※上記の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わる場合があります。
- ※HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してリダイヤルし、その後ヘッドセットに通話を切り替えてください。

## 本製品のご使用方法

### 1. ペアリング(機種登録)、接続試行、リセット操作 ※取扱説明書Aをご参照ください

- ペアリング(機種登録)モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。  
※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書Aと取扱説明書B(本書)の表面に詳しい記載をしております。必ずそちらもご覧いただき、ご使用ください。

ペアリングモード(手動)	接続している端末がない状態で、メインスイッチを約5秒間押す
リセット	「<」と「>」の両方のスイッチを同時に約7秒間押す



＜リセット＞  
「<」、 「>」を同時に約7秒間押し続けると、赤いLEDが5回点滅して本機メモリのリセットを行い、工場出荷状態に戻ります。リセットしてからお使いになる場合は、ペアリング(機器登録)から設定しなおしてください。

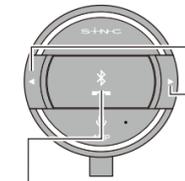
【メインスイッチ】  
電源入時、約5秒間長押しする▶ペアリング(機種登録)モードに移行

### 2. ハンズフリー機能を使う

- 携帯電話機とつないでハンズフリー通話をする場合に使えるスイッチ操作は以下の通りです。

電話を受ける	着信時、メインスイッチを1回押す
電話をかける	待受け時、携帯電話機側で発信操作を行う 待受け時、メインスイッチを2回連続で押す(ラストナンバーリダイヤル)
音量の調整※	「<(音量下げる)」または「>(音量上げる)」スイッチ長押し

- ※「<」または「>」を押してから約2秒で音量レベルが変わり始め、その後離さずに押し続けると約1秒経過ごとに音量が1段階変化します。音量レベルが最大または最小になると、電子音でお知らせします。



【「<」スイッチ】  
2秒以上長押し▶こちらが聞こえる音量を下げる

【「>」スイッチ】  
2秒以上長押し▶こちらが聞こえる音量を上げる

【メインスイッチ】  
a.着信時1回押す▶電話を受けます  
b.着信時2秒長押しする▶着信拒否  
c.通話時1回押す▶通話を終了します  
d.通話時2秒長押しする▶携帯電話機への切り替え(もう一度2秒長押しして再接続)  
e.待受け中短く2回連続で押す▶直前に掛けた電話番号に再発信(ラストナンバーリダイヤル)

- ※携帯電話機側で発信操作を行った後、一部の携帯電話機では、本機にハンズフリー通話を受け渡す為に携帯電話機側での操作が必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話機で下記のような操作を行ってください。

通信事業者/端末機種など	操作もしくはは操作の結果
iPhone	初期設定は自動接続。手動では音声出力先に本機「BTR100」を選びます
Android	初期設定は自動接続。手動では音声出力先に本機「BTR100」を選びます
Android(SHARPの一部)	Menuで「Bluetooth」を選択。端末のBluetooth設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います
docomoフィーチャーフォン	携帯電話機で発信後、「通話ボタン」を押してください
AUフィーチャーフォン	携帯電話機で発信後、「[メイン(決定)ボタン]」を押してください
SoftBankフィーチャーフォン	携帯電話機で発信後、「[メイン(決定)ボタン]」を押してください

- ※上記はあくまで主な一例です。端末機種により、上記の内容以外の方法もありますので、携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

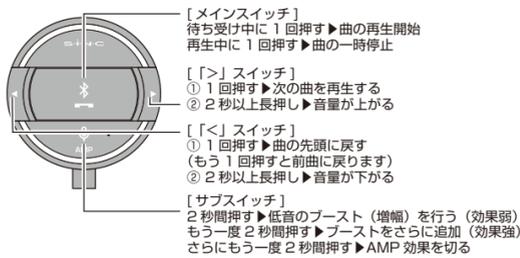
### 3. 音楽を聴く

- 音楽再生可能な接続機器とつないで音楽を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。  
※接続機器の音楽再生をする場合は、相手側にもA2DPが搭載され、本製品との間でA2DP接続していることが必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- ※再生、一時停止、曲送り、曲戻しなどの操作を行う為には、接続機器側にもAVRCP機能が必要です。
- 音楽の再生時、内蔵アンプによる低音のブーストをしい時は、サブスイッチを長押ししてください。  
※AMP効果(弱)の時はAMPステータスLEDが弱い赤で点灯。AMP効果(強)の時は赤LEDが明るくなります。

音楽の再生開始	待受け時、メインスイッチを1回押す
音楽の一時停止	音楽再生時、メインスイッチを1回押す
音楽の曲戻し	音楽再生時、「<」スイッチを1回押す
音楽の曲送り	音楽再生時、「>」スイッチを1回押す
AMP (BASS BOOST)	音楽再生時、サブスイッチを2秒間長押し(2段階調整可能)
音量の調整※	「<(音量下げる)」または「>(音量上げる)」スイッチ長押し

- ※「<」または「>」を押してから約2秒で音量レベルが変わり始め、その後離さずに押し続けると約1秒経過ごとに音量が1段階変化します。音量レベルが最大または最小になると、電子音でお知らせします。

- ※一部の携帯電話機では、音楽再生時の音量操作が携帯電話機側の音量設定とリンクしない場合があります。その場合は、本機からオーディオ出力を調整する機能となるため、本機の音量調整と携帯電話機の音量設定、カーオーディオの音量設定の3つで最適な音量・音質になるように調整してください。



【メインスイッチ】  
待受け中に1回押す▶曲の再生開始  
再生中に1回押す▶曲の一時停止

【「>」スイッチ】  
① 1回押す▶次の曲を再生する  
② 2秒以上長押し▶音量が上がる

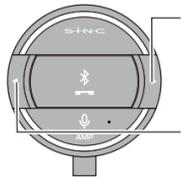
【「<」スイッチ】  
① 1回押す▶曲の先頭に戻す(もう1回押すと前曲に戻ります)  
② 2秒以上長押し▶音量が下がる

【サブスイッチ】  
2秒間押す▶低音のブースト(増幅)を行う(効果弱)  
もう一度2秒間押す▶ブーストをさらに追加(効果強)  
さらにもう一度2秒間押す▶AMP効果を切る

### 4. テレビ(ワンセグ/フルセグ)を視聴する

- テレビ視聴が可能な機種とつないで音声を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。  
※本機はSCMS-T方式で保護された音楽やワンセグ/フルセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側もA2DP、AVRCPが対応して接続しており、SCMS-T方式にも対応している必要があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

音声の再生開始	テレビソフトを携帯電話機側で起動
チャンネルの選択	「<」または「>」スイッチを1回押す ※携帯電話機のリストに沿って受信局が変わります
音量の調整(音楽再生と同じ)	「<(音量下げる)」または「>(音量上げる)」スイッチ長押し

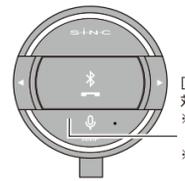


【「>」スイッチ】  
① 1回押す▶受信局の選択  
② 2秒以上長押し▶音量を上げる

【「<」スイッチ】  
① 1回押す▶受信局の選択  
② 2秒以上長押し▶音量を下げる

### 5. 音声アシスタントを起動する

- 音声アシスタントに対応する携帯電話機と接続中、サブスイッチを1回押すことで起動できます。  
※ウェイクワード(Hey, Siri)等による本機での音声アシスタント起動はできません。  
※音声アシスタントの起動中に本機のマイクに向かって発話してください。



【サブスイッチ】  
対応する機器と接続時、1回押す▶音声アシスタントが起動します。  
※iPhone では [siri]、Android では [Google アシスタント] (一部の機種で [ボイスダイアル]) が起動します。  
※設定等により起動しない場合があります。お使いの端末の取扱説明書等をご確認ください。

### 6. その他(通信範囲から逸脱した後の接続状況)

- 接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、Beep音が鳴って警告し、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 10m以内に戻っても自動接続しない場合は、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTR100」を選択して再接続を試みます。
- 携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するが、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTR100」を選択して再接続を試みます。

## 取り扱い上の注意

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
- 警告・注意に促されない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容

⚠ 警告 ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

- 車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。  
運転による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の運送的な操作、取扱い、USBプラグの抜き差しも運転操作の妨げになりますのでやめてください。  
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。
- 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。  
水分にさらされたら内部に水が入りたままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子ポートが濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。
- 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。  
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。  
また、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。
- 小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。  
小さなお子様が飲み込むなど、事故のおそれがあります。
- 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源への接続をお切りください。

- 本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。  
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用していないことを確認してください。

⚠ 注意 ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

- お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。  
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。
- 本製品の使用温度は0~40℃、保管温度は-20~60℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- クリーニングするときにアルコールや研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。  
傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。
- 各プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくりと引き抜いてください。  
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
- LED光源を直視しないでください。  
目の健康を損ねるおそれがあります。

## 困った時は…

- 故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないか確認してください。また、次の項目をご確認ください。

- 以下のような症状で使用できない場合の対処法
- 携帯電話で検索(サーチ)しても本機の機種名「BTR100」が表示されない
  - ペアリングは完了したが接続できていない
  - ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
  - ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- ②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BTR100」を削除し、再度ペアリングしてください。それでも解消しない場合は、接続機器のリセット(ネットワーク設定の初期化)をお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	USBプラグが正しく挿し込まれているかご確認ください。また、USBポートの出力が1A以上かご確認ください。データ通信用のUSBポートやモバイルバッテリーでは動作しない場合があります。
電源をオンにするとき/音交互点滅になる	本機がどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後や、リセット直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモードにならない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。
ペアリングができない	ペアリングモードにならない
バスキー(PIN)がわからない	本製品のバスキーは「0000 (ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない	携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになっていませんか? HFP(ハンズフリープロファイル)で接続されているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定してください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い状態に設定になっている場合があります。電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信機器が近接している可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などが無いか確認してください。 携帯電話をスマホの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。
着信音が聞こえない	通話中にメインスイッチを2秒間長押しすると、音声出力が携帯電話に切り替わり、AUXの接続先から着信音が聞こえなくなります。もう一度2秒間長押しすると音声出力が元に戻ります。
本機の操作で発信ダイヤルできない	本機で可能な発信機能は、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。※メインスイッチを2回押すと自動発信。
リダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(ヘッドセットプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	USBプラグが緩んでいないか確認してください。 携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
ペアリング成功後に電源が切れない	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を選択し、手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
ペアリング成功後に電源が切れない	メインスイッチを1回押すと、自動接続を再試行して接続できる場合があります。
テレビの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側がSCMS-T対応かどうかご確認ください。携帯電話機が対応していない場合、テレビ(ワンセグ/フルセグ)放送は聞きません。 ハンズフリーの他に、A2DPでもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP(ヘッドセットプロファイル)に対応していないと接続とご使用は可能ですが、相互接続はOSやソフトウェアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
LINEや動画のサイトの音声がかきこえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様上依存するため、今まで使えたものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。

※接続する機器の取扱説明書も必ずご確認ください。